



公務員試験合格者インタビュー



公務員試験合格の最新情報はこちら

合格者に、大学・短大での学びや試験勉強について、聞いてみました！

宇都宮市（一般行政）合格 経営学部4年 栗原 涼吾さん

公務員を目指したきっかけを教えてください。

高校3年の夏に甲子園で優勝した際、たくさんの宇都宮市民の方々に祝っていただき、自分たちが多くの方々に支えられていることを実感しました。その経験から、将来は、生まれ育った宇都宮市と、応援していただいた市民の皆さんに、恩返しをしたいと思い、公務員を目指しました。

合格に向けて、どのような準備をしましたか？

日々更新されるニュース、特に宇都宮市のニュースをホームページ等でチェックし、情報収集しました。また、面接対策として、自己分析に多くの時間を割きました。

本格的に勉強を始めたのは、大学3年の5月です。大学施設の「資格取得支援室」を利用し、授業の空き時間に1日3～5時間、4年生になってからは10時間以上、勉強しました。資格取得支援室は、教材が豊富で、指導教員も常駐しています。また、自分と同じように目標を持って勉強する仲間がいる環境は、モチベーションを保つことに繋がりました。

今後の抱負を教えてください。

13年間続けてきた野球で培った、精神力・体力・忍耐力を活かし、市民の方々からも職員からも頼られる職員になるのが目標です。

宇都宮市の看板を背負っているという自覚を忘れず、今後も目標に向かって努力し続けていきたいです。



経営学部4年 栗原 涼吾さん
(作新学院高等学校出身)

宇都宮市（一般行政）合格 人間文化学部4年 小森 千遥さん

公務員を目指したきっかけを教えてください。

高校生の時にインターンシップを体験したことで、それまでの「市役所＝事務作業」というイメージが変わりました。多くの人とコミュニケーションを取りながら生き生きと働く職員の方々の姿を見て、憧れを抱いたのがきっかけです。

合格に向けて、どのような準備をしましたか？

大学3年の4月から、筆記試験対策として、ひたすら問題を解き、解き方のパターンを覚えるようにしました。1月頃からは、エントリーシートや面接対策も行いました。

大学で無料開講している「公務員試験対策講座」では、専門の先生方が、解き方のコツや効率の良い勉強方法を教えてくださいるので、とても役立ちました。また、資格取得支援室では、室長の杉本先生が常に声をかけて応援してくださいました。親身になって指導していただき、とても感謝しています。

今後の抱負を教えてください。

私は在学中、興味のあることには何でも挑戦し、コツコツ努力を積み重ねてきました。この努力の積み重ねが、今の私の武器です。

これからも挑戦を続け、市民の方々から「この人に任せれば大丈夫」と思ってもらえるような信頼される職員になりたいです。



人間文化学部4年 小森 千遥さん
(宇都宮中央女子高等学校出身)

那珂川町（保育教諭）合格 幼児教育科2年 後藤 咲さん

合格に向けて、どのような準備をしましたか？

まずは1次試験（筆記試験）に向けて参考書を使って勉強しました。1次試験の後すぐに、2次試験の作文と面接の練習をしました。2次試験には、ピアノの実技試験もあったので、初見で弾き歌いができるように、とにかく曲数をこなして練習しました。

作短での学びは、どのように役立ちましたか？

実践の授業が多いところが良いです。授業や行事で発表する場が多いため、人前で話したり説明することに自信ができました。そのおかげで、面接試験の際、緊張せずに面接官と楽しく会話をすることができました。

また、ピアノの先生がとても丁寧に指導してくれます。空き時間に利用できるピアノレッスン室もあるので、実技試験の練習に役立ちました。

今後の抱負を教えてください。

私が年長の頃、保育士を目指すきっかけとなった憧れの先生がいました。その先生のように、誰からも信頼され、常に笑顔で、子どもたちに前向きな言葉をかけられる保育士になりたいです。

また、作短の子育て支援「わいわいひろば」では、子どもの月齢や発達段階に合わせたコーナー保育や、玩具づくりを学びました。この経験を生かし、子どもたちへの理解をより深められるように、これからも勉強していきたいです。



幼児教育科2年 後藤 咲さん
(烏山高等学校出身)



公立保育園合格の最新情報はこちら

教員採用試験合格者インタビュー



教員採用試験合格の最新情報はこちら

合格者に、大学での学びや試験勉強について、聞いてみました！

栃木県公立学校（小学校）合格 人間文化学部4年 西岡 亮さん

合格に向けて、どのような準備をしましたか？

大学2年の後期から、1次試験の勉強を始めました。栃木県の過去問を18年分解いて、分からない所は「教職実践センター」で先生に質問したり、自分で調べたりして、解ける問題を増やしました。

3年生からは、小論文や面接、集団討論の練習など、2次試験の勉強を始めました。特に面接と集団討論は、練習と反省を何度も繰り返したり、他の人が練習するのを見て、良いところを積極的に取り入れるようにしました。

また、在学中に、小学校で学習支援のボランティア活動をしたことは、実際の教育現場で指導法を学ぶことができる有意義な経験となりました。この経験は、2次試験での自己アピールにも繋がりました。

大学施設を利用して良かったことを教えてください。

「教職実践センター」では、小・中・高で教員経験のあるベテランの先生方に、いつでも質問や相談ができます。教育実習前の準備をしたり、各都道府県の過去問が沢山あるので、空き時間は採用試験の勉強に利用しました。

また、「教員採用試験対策講座」では、経験豊かな先生方から、小論文や面接、集団討論、教科ごとの対策など、様々な指導をしてもらえます。



今後の抱負を教えてください。

中学時代の恩師のように、子どもに親身に寄り添い、悩みを聞いてあげられる教員になりたいです。そして、保護者にも信頼される教員となり、地元に貢献したいです。

人間文化学部4年 西岡 亮さん
(今市高等学校出身)

福島県公立学校（小学校）合格 人間文化学部4年 馬場 那央也さん

合格に向けて、どのような準備をしましたか？

大学3年の時に、採用試験の問題を解いてみたところ、分からない所が多く、それから危機感をもって勉強に取り組むようになりました。

まずは、高校生の頃に入試対策として使っていた各教科の問題集で、自分の苦手分野を復習し、大学で開講している「教員採用試験対策講座」で、自分では気づかなかった苦手部分を指摘してもらい、さらに苦手克服に取り組みました。

大学施設を利用して良かったことを教えてください。

「教職実践センター」は授業の空き時間によく利用しました。教科書や問題集などの教材が豊富にあるので、気になったことを直ぐに調べられるのが良いです。

また、常駐する先生方に、多方面からアドバイスしていただき、自分に合う勉強方法を見つけることができました。同じ目標を持つ仲間がいる環境も、良い刺激になります。

今後の抱負を教えてください。

教育実習でバスケットボールの授業をした際、初めは興味を持たなかった子どもたちが、バスケットボールを楽しんでいる様子を見て、休みの時間にも練習する姿を見て、子どもの可能性を広げられる「教員」という仕事にやりがいを感じました。

この気持ちを忘れず、子どもの成長を助け、可能性を広げられる教員を目指したいです。

人間文化学部4年 馬場 那央也さん
(南会津高等学校出身)



地域を支える人材を育成します

各種資格・免許取得に役立つ講座などを用意して学生をサポートします。



資格取得をめざす学生サポート詳細はこちら



教員をめざす学生サポート詳細はこちら

公務員及び各種資格試験合格をサポート

公務員試験対策講座の他、日商簿記・税理士・公認会計士・ITパスポート・基本情報技術者等、各種資格試験の対策講座を開講しています。また、資格取得支援室では、資格取得をめざす学生が朝から夜まで自由に利用でき、常駐する教員からのアドバイスを受けることが可能です。

教員採用試験合格をサポート

教員をめざす学生のために、教員採用試験対策講座を開講しています。1次試験の一般教養試験や各々の学校種に応じた専門試験対策、2次試験の論文の書き方、個人面接、集団討論等の受験対策指導が受けられます。

公認心理師試験合格をサポート

心理学研究科の在学学生・修了生、及び人間文化学部の卒業生を対象に、「公認心理師（国家資格）」と「臨床心理士」の試験対策講座を開講しています。



公認心理師と臨床心理士の合格状況はこちら

本学へのお問い合わせはこちら



作新学院大学

経営学部（経営学科・スポーツマネジメント学科）
人間文化学部（発達教育学科・心理コミュニケーション学科）
大学院（経営学研究科・心理学研究科）



作新学院大学女子短期大学部

幼児教育学科

<https://www.sakushin-u.ac.jp/sjc/>

